



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月8日

上場会社名 ジャパンマテリアル株式会社  
 コード番号 6055 URL <https://www.j-materials.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 久男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 長谷 圭祐  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 TEL 059-399-3821

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,933	26.1	2,439	14.2	2,642	22.8	1,851	31.5
2022年3月期第1四半期	8,673	4.9	2,137	2.7	2,152	3.5	1,408	1.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,990百万円 (28.2%) 2022年3月期第1四半期 1,552百万円 (10.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	18.04	
2022年3月期第1四半期	13.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	46,773	37,342	79.8
2022年3月期	45,502	37,202	81.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 37,342百万円 2022年3月期 37,202百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		18.00	18.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	26.0	5,700	22.2	5,700	21.2	3,900	22.9	38.00
通期	45,000	18.5	11,000	17.9	11,000	13.3	7,500	11.4	73.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	105,149,520 株	2022年3月期	105,149,520 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,514,240 株	2022年3月期	2,512,923 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	102,636,254 株	2022年3月期1Q	102,620,946 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、ワクチン接種の促進や各種政策の効果、海外経済の改善もあり、景気は持ち直しの動きがみられましたが、新たな変異株の確認に加え、ウクライナをめぐる国際情勢の悪化等による原材料や原油価格の高騰、さらには急激な円安の影響などにより、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループが属する業界では、テレワークやオンライン教育の拡大ならびにI o Tや5 G(第5世代移動通信システム)の普及によるデータセンター向け、車載向けなどのニーズ拡大を背景に、半導体需要は増加傾向で推移しました。

このような状況の中、当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するインシヤル部門(特殊ガス供給装置製造、供給配管設計施工)は、主要顧客である半導体工場において新規設備投資が一部想定より後ろ倒しとなったものの、設備投資は継続して実施され、概ね堅調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門(特殊ガス販売管理業務、技術サービス等)は、半導体工場での生産活動が拡大していることから、特殊ガス販売管理業務、半導体製造装置メンテナンスを中心に堅調に推移しました。

グラフィックスソリューション事業においては、デジタルサイネージ向け関連製品を中心に堅調に推移しました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,933百万円(前年同四半期比26.1%増)、営業利益は2,439百万円(前年同四半期比14.2%増)、経常利益は2,642百万円(前年同四半期比22.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,851百万円(前年同四半期比31.5%増)となりました。

#### ①エレクトロニクス関連事業

当セグメントにおいては、売上高は10,543百万円(前年同四半期比26.4%増)、セグメント利益は2,730百万円(前年同四半期比17.4%増)となりました。

#### ②グラフィックスソリューション事業

当セグメントにおいては、売上高は327百万円(前年同四半期比20.7%増)、セグメント利益は43百万円(前年同四半期比74.9%増)となりました。

#### ③太陽光発電事業

当セグメントにおいては、売上高は62百万円(前年同四半期比7.8%増)、セグメント利益は37百万円(前年同四半期比36.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,271百万円増加し、46,773百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,692百万円減少したものの、流動資産のその他に含まれる前渡金が2,297百万円増加、受取手形、売掛金及び契約資産が866百万円増加、原材料及び貯蔵品が405百万円増加、仕掛品が148百万円増加したことによります。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,131百万円増加し、9,430百万円となりました。これは主に未払費用が697百万円増加、流動負債のその他に含まれる前受金が303百万円増加したことによります。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ140百万円増加し、37,342百万円となりました。これは主に利益剰余金が、配当金の支払1,847百万円により減少したものの親会社株主に帰属する四半期純利益1,851百万円の計上により増加、為替換算調整勘定が140百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日付「2022年3月期決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による国内外の経済活動の更なる減速、主要顧客の設備投資の遅れ、顧客工場における稼働率の大幅な低下などにより、今後の事業活動及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,863,817	6,171,470
受取手形、売掛金及び契約資産	15,584,694	16,450,797
商品及び製品	1,270,742	1,414,667
仕掛品	1,605,243	1,753,953
原材料及び貯蔵品	2,031,232	2,437,174
その他	3,010,379	5,696,022
流動資産合計	33,366,109	33,924,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,562,025	5,495,335
その他（純額）	3,609,069	3,815,889
有形固定資産合計	9,171,094	9,311,225
無形固定資産		
投資その他の資産	43,955	42,623
リース債権及びリース投資資産	1,927,255	1,678,258
その他	993,704	1,817,479
投資その他の資産合計	2,920,959	3,495,737
固定資産合計	12,136,009	12,849,587
資産合計	45,502,119	46,773,673
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,658,962	3,323,294
短期借入金	134,262	151,439
未払金	428,943	932,027
未払費用	376,134	1,074,114
未払法人税等	1,493,419	880,221
賞与引当金	602,907	307,223
その他	350,128	969,165
流動負債合計	7,044,758	7,637,487
固定負債		
リース債務	575,004	542,340
退職給付に係る負債	589,567	611,014
資産除去債務	27,389	28,859
その他	62,985	611,139
固定負債合計	1,254,947	1,793,353
負債合計	8,299,705	9,430,840

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,317,815	1,317,815
資本剰余金	1,618,109	1,616,498
利益剰余金	35,090,894	35,094,729
自己株式	△1,060,135	△1,060,729
株主資本合計	36,966,683	36,968,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△555	△2,105
為替換算調整勘定	237,030	377,320
退職給付に係る調整累計額	△743	△696
その他の包括利益累計額合計	235,730	374,518
純資産合計	37,202,413	37,342,832
負債純資産合計	45,502,119	46,773,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	8,673,207	10,933,736
売上原価	5,874,618	7,570,539
売上総利益	2,798,589	3,363,197
販売費及び一般管理費	661,277	923,430
営業利益	2,137,311	2,439,766
営業外収益		
受取利息	1,762	1,945
受取配当金	2,435	7,602
為替差益	1,549	182,347
受取賃貸料	3,954	5,102
助成金収入	4,777	1,889
その他	3,172	5,861
営業外収益合計	17,651	204,748
営業外費用		
支払利息	1,780	1,258
不動産賃貸費用	847	730
その他	11	12
営業外費用合計	2,638	2,000
経常利益	2,152,324	2,642,514
特別利益		
固定資産売却益	278	—
特別利益合計	278	—
特別損失		
固定資産除売却損	2,096	1,356
退職給付費用	121,338	—
特別損失合計	123,435	1,356
税金等調整前四半期純利益	2,029,167	2,641,158
法人税、住民税及び事業税	604,525	893,662
法人税等調整額	16,423	△103,797
法人税等合計	620,948	789,865
四半期純利益	1,408,218	1,851,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,408,218	1,851,293



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,408,218	1,851,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,530	△1,549
為替換算調整勘定	150,686	140,290
退職給付に係る調整額	149	47
その他の包括利益合計	144,305	138,788
四半期包括利益	1,552,524	1,990,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,552,524	1,990,081
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
売上高				
外部顧客への売上高	8,343,687	271,648	57,872	8,673,207
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	8,343,687	271,648	57,872	8,673,207
セグメント利益	2,326,764	24,628	27,507	2,378,900

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,378,900
全社費用(注)	△242,698
その他	1,109
四半期連結損益計算書の営業利益	2,137,311

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,543,541	327,803	62,392	10,933,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,543,541	327,803	62,392	10,933,736
セグメント利益	2,730,509	43,084	37,521	2,811,116

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,811,116
全社費用(注)	△373,355
その他	2,005
四半期連結損益計算書の営業利益	2,439,766

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。